

豊岡市
奈佐地区地域づくり計画
“つぎの第2歩計画”

「人が輝く・地域が輝く」みんなでつくる奈佐を目指して



令和4年(2022年)3月

奈佐地区コミュニティ なぎさの会

奈佐地区地域づくり計画“第2歩計画”の策定にあたって

奈佐川の堤防を上流に向かって歩くと、右手に矢次山（568m）、左手に但馬空、そして、正面に大岡山（663m）が望めます。その前面には、奈佐の12集落が広がっています。静かな田園風景と四季の美しさ、そのなかでの穏やかな生活は、人任せではいつまでも続くものではありません。

平成29年1月、「自分たちの地区は、自分たちが守り、つくる」という決意のもと、奈佐地区コミュニティなぎさの会が設立され、「はじめの第1歩計画」に基づき様々な活動を行ってきました。新たな情報発信と人が集まるしかけづくりにより、活気がでてきました。

ところが、各地区の内側に目をやると、人口減少や、少子化、高齢化が進み、空き家の増加、耕作放棄地の拡大、鳥獣被害の増加等簡単に解決できない課題が一杯です。

この間に、急激な変化もありました。奈佐小学校が五荘小学校と統合し、跡地利用は未定です。奈佐森林公園は、3年限りの地区指定管理となりました。

そして、このコロナ禍です。地域社会は大きく変化し、このままでは、先人が残された豊かな自然や結びつきの強い地域社会を維持していくことは難しくなりつつあります。

5年間のコミュニティ活動を通して、いろいろな課題が見えてきました。そこで、地域の資源や課題を見つめ直し、今後の活動や事業、組織運営の方向性を示す「つぎの第2歩計画」を策定することとなりました。

策定にあたっては、地域再生アドバイザー 平櫛 武氏（キタイ設計）、豊岡市役所コミュニティ政策課 小田垣 聡氏、一般社団法人ちいきのて 上田 芳史氏、但馬県民局 浦野 武彦氏のご指導を受けました。また、18名の運営会議委員の皆さまや区長さまには熱心に話し合いに参加していただきました。多くの皆さまのお力をお借りしてこの計画が策定できました。心より感謝申し上げます。

令和4年（2022年）3月

奈佐地区コミュニティ なぎさの会
会 長 岡下 修

目次

第1章 基本的な事項

1. 奈佐地区コミュニティなぎさの会 地域づくり計画の策定について----- 1
2. 奈佐地区コミュニティなぎさの会地域づくり計画の対象範囲 ----- 2

第2章 奈佐地区の現状と問題点・課題

1. 地区の現状 ----- 3
2. 奈佐地区コミュニティなぎさの会の取組み状況 ----- 7
3. 地域再生アドバイザーとの懇談会 ----- 8
4. 奈佐地区“つぎの第2歩計画”策定ワーキング ----- 10
5. 奈佐地区における地域づくりの問題点・課題 ----- 12

第3章 奈佐地区の将来像

1. 奈佐地区の将来像 ----- 13
2. 地区住民の5年後、10年後の生活像 ----- 13

第4章 将来像実現に向けて必要な取組み

1. みんなが学び合い豊かに暮らせる奈佐 ----- 14
2. モダンローカリズム(新しいローカルのカタチ) ----- 15
3. 助け合い 支え合い みんなで守る奈佐の里 ----- 16
4. 将来(3~5年後)の実施体制イメージ及びプロジェクトイメージ----- 17

第5章 リーディング・プロジェクト(率先プログラム)

1. 中学生のつどい ----- 18
2. こどもよいち ----- 22

第6章 計画の推進体制と点検評価

1. 推進体制と運営のイメージ ----- 24
2. 将来に向けた取組み実施のイメージ ----- 25

第7章 今後の課題

第1章 基本的な事項

1. 奈佐地区コミュニティなぎさの会 地域づくり計画の策定について

豊岡市では、旧地区公民館の区域を基本に、全29地区で地域コミュニティづくりを進めています。

地域コミュニティづくりは、若者から高齢者まで、男性も女性も、多様な住民が参画しながら地域の未来を見据えて住民自治を進める取り組みです。

また、地区公民館は平成28年度に廃止し、平成29年度からは一斉に「コミュニティセンター」へ移行し、地域コミュニティ組織の活動拠点と位置づけ、住民自治の拠点として生まれ変わりました。

設立時の動き 平成28年から平成29年

奈佐地区では、平成29年1月に地域コミュニティ組織「奈佐地区コミュニティなぎさの会」を設立しました。併せて、設立初期段階の活動を計画的かつ効果的に推進するために「はじめの第1歩計画」を策定しました。

設立後の活動 平成29年から令和元年

旧公民館から続く伝統的な活動を継続しつつ、はじめの第1歩計画に示した活動を実施しています。

一方、活動をすすめていく中で、奈佐地区住民のニーズの変化等から新しい活動も始まり、活動内容や組織運営方法を少しずつ見直していく必要が出てきました。

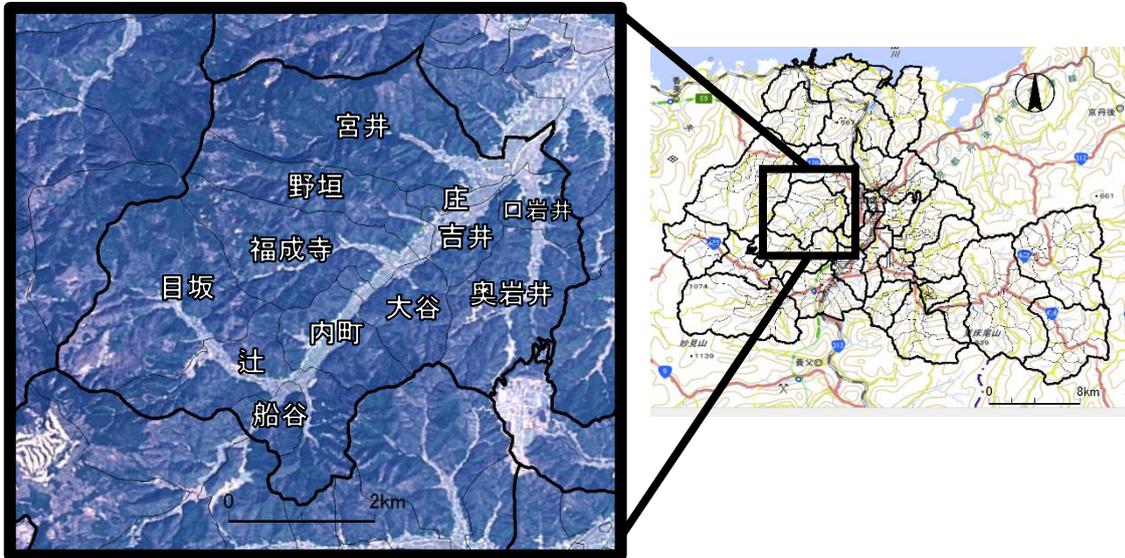
設立後の活動 令和元年から令和3年

地域の資源や課題を改めて見つめなおし、今後の活動や事業、組織運営の方向性等を示す奈佐地区地域づくり計画「つぎの第2歩計画」を策定することになりました。

2. 奈佐地区コミュニティなぎさの会地域づくり計画の対象範囲

本計画の範囲は奈佐地区コミュニティセンター（奈佐地区を構成する 12 行政区）の範囲とします（図表 1）。

奈佐地区内の 12 行政区の人口と世帯数は図表 2 のとおりです。



図表 1 奈佐地区の範囲と行政区

※国土地理院地図（標準地図、電子国土基本図（オルソ画像））と国勢調査区画図から作図

図表 2 奈佐地区の人口と世帯数

（人口は 2021 年 3 月末現在の住民基本台帳より、世帯数は広報とよおか配布数）

	人口	世帯数
奥岩井	83	26
口岩井	70	26
宮井	169	51
庄	86	39
吉井	50	17
野垣	57	23
福成寺	123	35
大谷	85	26
内町	118	39
辻	76	27
船谷	30	13
目坂	68	23
地区全体	1015	345

第2章 奈佐地区の現状と問題点・課題

1. 地区の現状

(1) 奈佐地区の資源・魅力等

奈佐地区は、旧郷名である「奈佐郷」の名を今に引き継いでいます。古来、船で行き来していたことなどから「なぎさ」に由来しているともいわれています。当地区は、米作りをはじめ農業が盛んで、地区では伝統行事である恒例の三世代交流そば打ち大会などが行われ、そば打ちや奈佐節などの伝統を地域ぐるみで引き継いでいます。(広報とよおか2007.4.25「豊岡の宝探し」)。

図表3～図表5は、奈佐地区の資源・魅力や主な施設等を示した図です。148年という長い歴史を紡いできた奈佐小学校が2021年3月末をもって閉校し、五荘小学校に統合となりましたが、これまで育まれてきた地域の自然や歴史、伝統、文化は地域住民の手によってこれからも大切に受け継がれていきます。

図表3 奈佐地区の文化財

名 称	指定年
野垣観音堂の木造十一面観音立像【県指定文化財】	1965 (昭40) .3.16
白藤神社の大モミ【県指定天然記念物】	1965 (昭40) .3.26
光雲寺の十一面観音立像【豊岡市指定文化財】	1977 (昭52) .11.1
奈佐節【豊岡市無形民俗文化財】	1996 (平8) .9.2
三木邸跡庭園【豊岡市指定文化財】	2001 (平13) .2.27

図表4 奈佐地区の主要な施設

名称	所在地
コウノトリ但馬空港	岩井字河谷 1598-34
奈佐駐在所	福成寺 68-1
奈佐森林公園	目坂 499
奈佐地区コミュニティセンター	吉井 593-5
旧奈佐小学校	吉井 620

図表5 奈佐地区の主な公共交通、買い物、医療情報 (2022年1月現在)

バス運行回数	8往復/日 (全但バス・目坂線) 日祝運行なし
最寄りのスーパー	ミニフレッシュ豊岡下陰店、フレッシュバザール豊岡正法寺店
最寄りのスーパーまでの時間	15分 (車)
最寄りの病院	豊岡病院ほか

(2) 奈佐地区の行政区の状況

図表6は奈佐地区の各行政区の状況を示した表です。日役等は、各行政区で共通する一方、区の独自性がうかがえる行事も見られます。

図表6 各行政区の状況

	奥岩井	口岩井	宮井	庄	吉井	野垣	福成寺	大谷	内町	辻	船谷	目坂
4月	定例会 水質検査 空港 ¹ トローリ					春日役	水保全日役	敬老会	初日役	総会	水路日役	
5月	定例会 水質検査 空港 ¹ トローリ			電気柵日役							電気柵日役	
6月	定例会 水質検査 空港 ¹ トローリ	クリーン作戦		クリーン作戦 堤防草刈日役	堤防草刈日役	草刈日役 水土里の会	クリーン作戦	柏餅つくり クリーン作戦	さなぶり日役 ホタルを見る会	クリーン作戦	クリーン作戦	
7月	夏日役 定例会・水質検査 空港 ¹ トローリ		環境維持日役			秋日役 十七夜	夏日役	川下祭り 川刈日役 盆前掃除	川刈日役	川刈日役	川刈日役	
8月	会館清掃 定例会・水質検査 空港 ¹ トローリ	会館清掃 夏祭り		夏祭り クリーン作戦			盆興行	盆踊大会	地藏盆	地藏盆 防災訓練		
9月	豊福院 定例会・水質検査 空港 ¹ トローリ	神社清掃				秋彼岸詣						
10月	秋祭り 定例会・水質検査 空港 ¹ トローリ			秋祭り	秋祭り	秋祭り 矢次祭	秋祭り	秋祭り 道路改良日役	秋祭り	秋祭り	秋祭り	秋祭り
11月	定例会 水質検査 空港 ¹ トローリ			電気柵日役								
12月	会館清掃 定例会・水質検査 空港 ¹ トローリ	会館清掃			迎えどんど			役員改選総会				
1月	賀詞交歓会 定例会・水質検査 空港 ¹ トローリ		賀詞交歓会		送りどんど	年賀参詣 どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き		年賀参詣 どんど焼き	年賀参詣 どんど焼き	年賀参詣 どんど焼き
2月	定例会 水質検査 空港 ¹ トローリ							節分祭				
3月	定例会 水質検査 空港 ¹ トローリ			溝堀日役		春彼岸詣	春日役	春日役 排水路泥上日役				

	地区全体	奥岩井	口岩井	宮井	庄	吉井	野垣	福成寺	大谷	内町	辻	船谷	目坂
人口 (2020.3末)	1,015	83	70	169	86	50	57	123	85	118	76	30	68
世帯数 (2020.3末)	379	32	24	59	40	17	24	41	30	46	30	11	25
隣保数 (2020.3末)	34	1	2	4	4	2	2	4	4	4	2	1	4
高齢化率 (2020.3末)	41.3%	37.3%	44.3%	40.2%	43.0%	40.0%	54.4%	37.4%	31.8%	37.3%	55.3%	36.7%	45.6%
ひとり暮らし軒数 (2022.1末)	30	5		2	4	3	4	1	4	0	5	1	1
空き家軒数 (2022.1末)	38	2	2	6	3	2	1	1	3	2	5	4	7
営農組合の有無	△	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	○	—
自主防災組織の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ふれあいいきいきサロン	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
玄さん元気教室	△	○	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○

令和3年1月末現在（奈佐地区各区長及び奈佐地区コミュニティなぎさの会調べ）

(3) 奈佐地区の団体の状況

図表7は、奈佐地区内活動団体等を整理した表です。奈佐森林公園管理委員会は、目坂地区単独での指定管理が困難になったため、奈佐地区全体で公園を維持管理していくことになり、2020年1月に発足しました。

図表7 奈佐地区内の活動団体

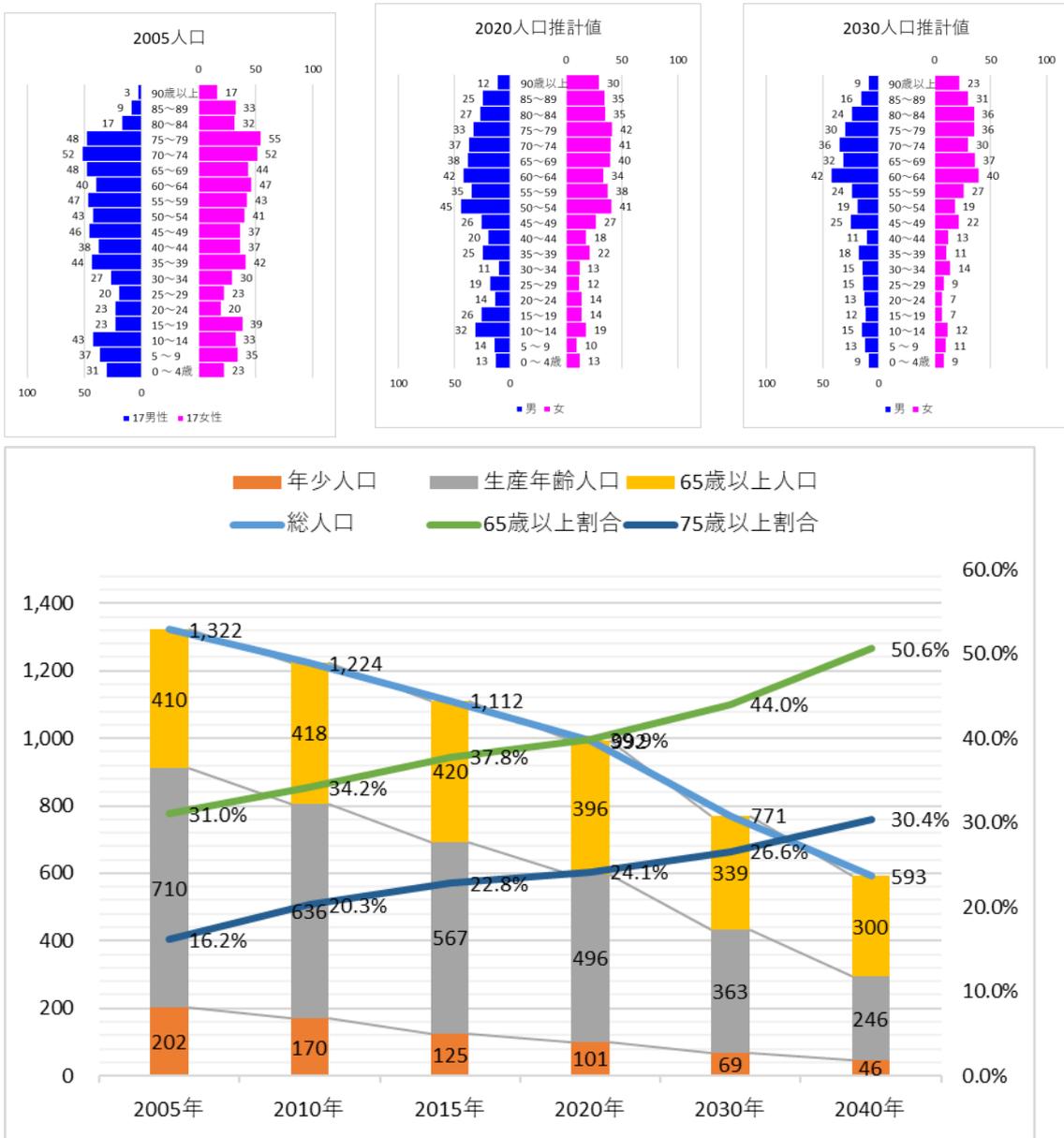
地域内の活動（コミュニティ以外も）	内 容	実施団体名
福祉	住民の健康づくりをサポートする	健康をすすめる会
	会則に記載	長寿会
	地域住民の見守り	民生児童委員・福祉委員
	奈佐地区の福祉活動の連携強化	奈佐地区福祉連絡会
環境保全	奈佐森林公園の維持管理	奈佐森林公園管理委員会
安心・安全	消防活動	豊岡消防団（第10分団）
	救急救命講習会	コミュニティ主催で調整中
	一斉ラジオ体操	青少年健全育成奈佐会議
子育て・教育	子育てサポート	ののはなグループ
文化・スポーツ	ソフトバレーボール大会	体育部
	運動会	体育部・文化部
	文化祭	文化部・体育部
	A t . 奈佐ウォークラリー大会	スポーツクラブ21・青少健・事務局
	三世代交流そば打ち大会	文化部・体育部・長寿会・子ども育成会・事務局
	ボーリング大会、グラウンドゴルフ大会、卓球大会	スポーツクラブ21とよおか奈佐クラブ
	奈佐節	奈佐節保存会
地域外との交流	N i g h t 桜 w e e k	コミュニティ事務局
	なさいち	コミュニティ事務局
広報・情報発信	コミュニティだより	コミュニティ事務局
その他		

(4) 地区の人口と将来推計

地区全体の人口推計は、少子化、高齢化が一層進み、2030年には人口が約770人となり、高齢化率が44.0%と予想されています（図表8）。

また、行政区単位での活動が困難になることが予想され、隣接する行政区同士との連携や、地域コミュニティ組織と行政区との間で共同して自治を進めていく必要があります。

図表8 奈佐地区の人口ピラミッド（上段）と人口構造（下段）
豊岡市人口ビジョン 2020より



2. 奈佐地区コミュニティなぎさの会の取組み状況

奈佐地区コミュニティ組織設立準備委員会を、平成26年10月から平成29年1月までの間に13回開催し、設立初期段階の新たな取り組みに向けて、はじめの第一歩計画を策定しました。その後、平成29年1月29日に設立総会を開催し、地域コミュニティ組織「奈佐地区コミュニティなぎさの会」を組織しました。

奈佐地区コミュニティ なぎさの会 はじめの第1歩計画

	H28	H29	H30	R1(H31)	R2
観桜の会	◎	◎	◎	◎	◎
健康環境ポイント制度に参加	▲	◎	◎	◎	◎
県民交流広場の設備を充実		◇	▲	▲	◎
公民館事業の見直し、検討		◇	◇	◇	◎
マラソン大会					◇

◎：活動実施、▲：準備、◇：検討

運動会、文化祭、三世代交流そば打ち大会などの地区公民館時代から続く伝統的な活動を継承しつつ、新たな賑わいの創出や広く住民が参加できるよう、「なぎさカフェ」「さくらまつり」「なさいち」「ふるさと再生なぎさ塾」といった新しい活動もはじめました。



なぎさカフェ（県民交流広場の充実）



観桜の会（さくらまつり）



三世代交流そば打ち大会



ふるさと再生なぎさ塾



なさいち

3. 地域再生アドバイザーとの懇談会

図表9 地域再生アドバイザーとの懇談会参加者名簿（当時）

団体名	委員名	役職
キタイ設計株式会社	平櫛 武	地域再生アドバイザー
但馬県民局	浦野 武彦	
但馬県民局	藪下 瑞季	
豊岡市	小田垣 聡	
豊岡市	上田 芳史	
コミュニティ三役会	岡下 修	会長
コミュニティ三役会	深山 義行	副会長
コミュニティ三役会	岡谷 邦人	副会長
コミュニティ三役会	本田 互	会計
コミュニティ事務局	友田 武道	地域マネージャー
コミュニティ事務局	杉山奈央子	地域支援員
コミュニティ事務局	土肥 瑞代	地域支援員
なぎさ塾運営委員	森本 博士	
なぎさ塾運営委員	宮下 晃	
区長会	多田 一英	
区長会	今井 敏明	
区長会	橋本 眞弥	
区長会	石田 昌志	
区長会	小山 耕治	
区長会	森田 泰弘	
区長会	石原 章二	
区長会	谷田 耕一	
区長会	松岡 順治	
区長会	池口 善啓	
民生児童委員	小山 幸雄	
区民	笹山 一平	

図表 10 地域再生アドバイザーとの懇談会検討内容

	日にち	検討内容
第1回	2019.7.8	・ 奈佐地区の現状診断 ・ 長所・短所・未来について意見交換
第2回	2019.9.2	・ 前回のまとめと課題の整理 ・ 地域づくり計画の策定について意見交換
第3回	2019.10.23	ワークショップ 「コミュニティの新たな取り組み」 人づくり・地域振興・防災・福祉
第4回	2019.12.2	・ 前回のまとめ ・ 「つぎの第2歩計画」の策定について ・ 組織体制等についての確認
第5回	2020.1.23	ワークショップ 現況（良い所・困っている所） 人づくりについて 組織体制について



4. 奈佐地区“つぎの第2歩計画”策定ワーキング

図表11 つぎの第2歩計画策定運営委員名簿

団体名	委員名	役職
コミュニティ	岡下 修	会長
コミュニティ	深山 義行	副会長
コミュニティ	森本 博士	副会長
コミュニティ	今井 敏明	会計
コミュニティ	友田 武道	
コミュニティ	杉山奈央子	
コミュニティ	土肥 瑞代	
長寿会	向原 勤	
消防団	土肥 晋	
民生委員	應供 乙美	
健康をすすめる会	池口 孝子	
スポーツ21	本田 悦子	
奈佐小PTA	岡下 進	
区長会推薦（区長）	石原 章二	
区長会推薦（区長）	森田 清治	
区長会推薦（区民）	笹山 一平	
区長会推薦（区民）	三笠知加野	
区長会推薦（区民）	土肥 美記	

図表 12 運営委員会検討内容

	日にち	検討内容
第1回	2020.9.18	各部門（人づくり・地域振興・防災福祉）の方針を決める
第2回	2020.10.19	既存事業のバージョンアップ
第3回	2020.11.26	主要事業の検討① 2021年度実施予定の主要事業について、改善と新たなアイデアの検討、事業の詳細を検討
第4回	2020.12.17	主要事業の検討② 前回の続き。2021年度実施事業の詳細を検討。その後、2022実施以降に実施する事業を整理。
第5回	2021.3.6	10年後に目指す姿と取組み計画 直近の実施予定と基本方針から、10年後に目指す姿（状態）を具体化し、実現のためのスケジュールを検討。
第6回	2021.10.14	決定（合意形成） 全体の内容確認



5. 奈佐地区における地域づくりの問題点・課題（良いところ、困っているところ）

地域再生アドバイザーとの懇談会を通じて、奈佐地区の良いところ、困っているところを整理しました。良いところを活かし、困っているところを対応するため奈佐地区住民の「出番づくり」「資源・魅力の創出」「助け合い」が必要と言えます。

良 い と こ ろ	<ul style="list-style-type: none"> ①伝統行事を守っている ②子どものことに協力的 ③自然環境が良い(ホタル・トンボ・星) ④蕎麦がおいしい、蕎麦打ちをする人が多い ⑤奈佐森林公園、天然記念物「大モミの木」 ⑥美しい農村風景 ⑦人の暮らしの原点があり、住むには良い ⑧近所づきあいがある
困 っ て い る と こ ろ	<ul style="list-style-type: none"> ①魅力が少ない(集客資源が乏しい) ②農業後継者が不足している ③耕作放棄地の増加 ④空き家が増えている ⑤鳥獣被害(シカ・サル・イノシシ・クマ) ⑥行事が多すぎて参加がとても負担 ⑦未婚者が多く、子どもが少ない ⑧移動手段不足(高齢者の運転免許返還等) ⑨思い切った行事の見直しができない ⑩医療機関がない ⑪子どもが進学・就職で地元に戻ってこない ⑫防災対策が行き届いていない ⑬消防団員が減少傾向 ⑭子どもを預ける場所がない



奈佐地区住民の「出番づくり」が必要
 奈佐地区の「資源・魅力の創出」が必要
 奈佐地区住民同士の「助け合い」が必要

第3章 奈佐地区の将来像

1. 奈佐地区の将来像

「人が輝く・地域が輝く」みんなでつくる奈佐

人が輝くとは、人づくりであり、一人ひとりの出番づくりです。

地域が輝くとは、地域振興であり、資源の活用です。

みんなでつくるとは、助け合いそのものであり、活動場面は防災・福祉です。

2. 地区住民の5年後、10年後の生活像

みんなが学び合い豊かに暮らせる奈佐「出番づくり」

私たち奈佐地区住民は、「みんなが集い」「豊かに」「快適に」「安全安心に」暮らせる奈佐地区を目指します。そのために10年後も、子どもからお年寄りまで生き活きと暮らし、里に学ぶ奈佐を創っていきます。

モダンローカリズム（新しいローカルのカタチ）「資源・魅力の創出」

昔からの良いところを活かし、「10年後には奈佐ってオモロイやんっ！！」と言える、新しい田舎の形を創造し、住む楽しさが実感でき、魅力と活気のある里づくりを目指します。

助け合い 支え合い みんなで守る奈佐の里「助け合い」

私たち奈佐地区住民は、安心安全な暮らしに向けて、人とひと、心と心の繋がりを大切にし、住民が皆で支えあい、助け合い、集い、「楽しく暮らさあで！」と声が掛け合える地区を目指します。

そのために、10年後も災害に強い奈佐になるよう、住民それぞれが備える～自助～とともに、毎日の暮らしの中での住民同士の関係づくりに努めます。

さらに、住民ひとりひとりの困りごとを相談し合い、住民同士の助け合い～互助・共助・近助～のある奈佐地区を創っていきます。

第4章 将来像実現に向けて必要な取組み

1. みんなが学び合い豊かに暮らせる奈佐「出番づくり」

(運営会議での検討状況)

みんなが集い生き活きと暮らせる奈佐を目指すにはどうすればよいのだろうか。豊岡市出前講座の活用をしたり、さまざまなカルチャー教室の開催をしてはどうか等の意見がでましたが、まずは既存の事業の見直しをすることにしました。大人から子どもまで、参加しやすく楽しめるように行事のマナー化を避けたり、新たに「中学生のつどい」を開催して、奈佐に関するアンケートを企画・検討しました。

みんなが学び合い豊かに暮らせる奈佐

概ね3年後までの具体的な取組内容	継続	変更等	～2020年との主な変更の内容	概ね3年くらい先までの実施主体
なぎさカフェ運営	○			奈佐地区有志
ふるさと再生なぎさ塾	○			なぎさ塾運営委員会・区長会
中学生のつどい		○	コミセン清掃をやめつどいの場へ	育成会・北中奈佐分団、青少健
At. 奈佐ウォークラリー大会		○		区長会・スポーツ21
三世代交流そば打ち大会	○			行事G・長寿会

図表 13 「みんなが学び合い豊かに暮らせる奈佐」実現に向けた向こう3年の取組み

2. モダンローカリズム（新しいローカルのかたち）「資源・魅力の創出」

（運営会議での検討状況）

最初に、チーム内で話し合いのベースとなるコンセプトを全員で考えました。地域振興部門は、新しいローカルのかたちとしての「奈佐田舎ブランド」が定着していくように、昔からある田舎のイメージを新しい田舎のかたちに変えていきます。既存事業の検討、新しいイベント案など、さまざまな提案が飛び交いましたが、代表的な取り組みとしては、コロナ禍でもできるイベントへシフトチェンジした「n i g h t 桜 w e e k」を企画・検討しました。

モダンローカリズム（新しいローカルのかたち）

概ね3年後までの具体的な取組内容	継続	変更等	～2020年との主な変更の内容	概ね3年くらい先までの実施主体
奈佐さくらまつり		○	ライトアップと遊歩道。バザー廃止	区長会、有志
なさいち		○	年3回程度実施	奈佐地区有志
ソフトバレーボール大会	○			体育部
運動会	○			行事G・区長会・育成会
文化祭	○			行事G

図表 14 「モダンローカリズム（新しいローカルのかたち）」実現に向けた向こう3年の取組み

3. 助け合い 支え合い みんなで守る奈佐の里「助け合い」

(運営会議での検討状況)

運営会議では、災害時の被害の発生や拡大を防止するためには、住民一人ひとりが防災に関する正しい知識を習得しておくことが重要と考えました。

また、各行政区の高齢化率が高まり、特に、支援が必要な人との日常からの繋がりづくりが重要との意見も出されました。

このことから、災害時に自主防災組織が効果的に活動し、支援が必要な人を支え合う仕組みや情報交換が必要と考え、まずは、地域ぐるみで防災意識の醸成を軸に企画・検討しました。

助け合い 支え合い みんなで守る奈佐の里

概ね3年後までの 具体的な取組内容	継続	変更等	～2020年との 主な変更の内容	概ね3年くらい先までの 実施主体
奈佐区長会かわら版発行		○	なさだよりに集約	-
なぎさだより発行	○			区長会、事務局
奈佐だより発行		○	区長会かわら版と一本化	事務局
奈佐地区防災研修会		NEW	防災計画作成・訓練等実施	防災会、区長会
奈佐地区福祉連絡会		○	防災計画と関連付け	奈佐地区福祉連絡会

図表 15 「助け合い 支え合い みんなで守る奈佐の里」実現に向けた向こう3年の取組み

4. 将来（3～5年後）の事業展開イメージ

図表 16 は、向こう 3 年程度実施する取組みの将来に向けた事業展開イメージを示した図です。計画策定後、3 年程度は、先に示した取組み内容と実施主体で事業を進めていきます。将来的には、プロジェクトチームが立ち上がり、住民が主体的に活動できるように推進します。このことを念頭に置きながら、今後の取組み実践を進めていきます。

みんなが学び合い豊かに暮らせる奈佐		
概ね3年後までの具体的な取組内容	概ね3年くらい先までの実施主体	将来(3～5年後)の実施体制イメージ
なぎさカフェ運営	奈佐地区有志	奈佐地区有志
ふるさと再生なぎさ塾	なぎさ塾運営委員会・区長会	仮)奈佐魅力発見プロジェクトチーム
中学生のつどい	育成会・北中奈佐分団、青少健	仮)子どもの学びプロジェクトチーム
At. 奈佐ウォークラリー大会	区長会・スポーツ21	
三世代交流そば打ち大会	行事G・長寿会	

モダンローカルズ（新しいローカルのカタチ）		
概ね3年後までの具体的な取組内容	概ね3年くらい先までの実施主体	将来(3～5年後)の実施体制イメージ
奈佐さくらまつり	区長会、有志	仮)モダンローカルプロジェクトチーム
なさいち	奈佐地区有志	
こどもよいち	こどもよいちプロジェクトチーム	
ソフトバレーボール大会	体育部	体育部
運動会	行事G・区長会・育成会	行事G・区長会・育成会
文化祭	行事G	行事G

助け合い 支え合い みんなで守る奈佐の里		
具体的な取組内容	実施主体	実施体制イメージ
奈佐区長会かわら版発行	-	
なぎさだより発行	区長会・事務局	区長会・事務局
奈佐だより発行	事務局	事務局
奈佐地区防災研修会	防災会・区長会	仮)支えあう暮らしプロジェクトチーム
奈佐地区福祉連絡会	福祉連絡会	

図表 16 向こう 3 年程度実施する取組みの将来に向けた事業展開イメージ

第5章 リーディング・プロジェクト(率先プログラム)

中学生のつどい

奈佐小学校が五荘小学校に統合になり、地域コミュニティから子どもたちの足が遠のくことが懸念されます。

例年は、一斉ラジオ体操の後に奉仕活動で中学生にコミュニティセンターの掃除をしてもらっていましたが、この機会に、中学生の声を直接聞き、これからの活動の参考とするとともに、奈佐の子どもたちが少しでも地域に関心を持ってもらえるように、との思いで企画しました。



「つぎの第2歩計画」事業企画書

作成日	2021年3月6日	作成部門	人づくり
事業タイトル (プロジェクト名)	中学生のつどい		
ターゲット	奈佐地区在住の中学生		
事業目的	いまを生きる中学生の声を直接聴いて、子どもたちが何を思っているを地域づくりに活かす		
具体的な実施内容 とスケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中学生清掃奉仕を中学生のつどいに変更する 2. 2021年8月に実施予定 		
予算計画	<ol style="list-style-type: none"> ①アンケート用紙印刷 ②飲物・冷菓等 		
担 当	主体 コミュニティ事務局	協力	子ども育成会 青少年健全育成奈佐会議
達成目標	出来るだけ多くの中学生に参加してもらいアンケートに協力してもらう		

20200820-1

「奈佐」に関する中学生アンケート

2021年8月1日

1 次の質問で最も近いと思うものに○印をつけてください

A 奈佐全体でいくつの地区がありますか

ア. 13地区→6人 イ. 12地区→10人 ウ. 11地区→0人

B 現在の奈佐の世帯数は

ア. 約500世帯→3人 イ. 約350世帯→11人 ウ. 約200世帯→2人

C 現在の奈佐の人口は

ア. 約2000人→0人 イ. 約1500人→8人 ウ. 約1000人→8人

D 現在の奈佐全体の高齢化率は

ア. 約70%→13人 イ. 約42%→3人 ウ. 約30%→0人

2 奈佐の良いと思うところを書いてください

- 自然がいっぱいある → 2人
- 自然がいい
- 自然がきれい
- 自然で遊べる
- 自然豊かで遊べる場所
- ひとりあたりの土地が広い
- 自然豊か → 4人
- 空気おいしい
- 虫がいっぱいいる
- 山があるところ → 2人
- くわがたがいること
- 自然が多い → 2人
- 地域の人とふれあえるところ
- 地域全体での取り組みがあること
- 自然を身近に感じられる
- イベントが少しある

3 奈佐で不便だ（困ること）と思うことがあれば書いてください

- ・コンビニがない → 5人
- ・お店とかがない → 3人
- ・外灯が少ない。暗い。 → 2人
- ・遊ぶところがない → 2人
- ・店が遠い → 2人
- ・店が少ない → 2人
- ・スーパーがない
- ・いなかすぎる。もっと都会にすればいい
- ・学校が遠い
- ・移動が大変
- ・自販機が少ない
- ・自販機に虫がいる
- ・おじいさん、おばあさんがたくさんいて、子どもの人数が少ない
- ・動物がいるところ（蛇がいること）
- ・高低差がすごい

4 あなたが大人になった時（40歳頃）奈佐で生活していると思いますか

ア 奈佐で生活している → 0人

イ 奈佐にいない ⇒ どこにいますか（ ）

大阪→4人 東京→3人 京都→2人 神戸→2人 わからない→3人

日本 豊岡 北海道 アメリカ

5 奈佐にこんなものがあつたらいいと思うこと、奈佐が今よりもこんなふうになつたらいいと思うことを書いてください

- ・お店 → 7人
- ・コンビニがあつたらいいな → 3人
- ・アニメイトがあつてほしい → 2人
- ・コンビニがほしい → 2人
- ・コンビニができて地域がもっと活性化して行つたらいいと思う
- ・店（何個か）か屋台、ファーストフード店、外食店
- ・公共施設がある
- ・外灯
- ・ひとが少しづつ減っていくから、もう少し木々を増やして自然いっぱいにする

こどもよいち

新型コロナウイルス感染対策による自粛生活が続く中で、「もう1年くらい近所の人とも会っていない…」などの声を多数耳にすることがありました。それならば、みんなが出てこれる場を作ろうということで話がまとまりました。

参加者は地区内に限定し、出来得る限りのコロナ感染対策をして開催しました。15歳以下の子どもたちには無料チケットを事前に配布し、キッズ屋台・ビンゴ大会などの出し物、フィナーレには仕掛け花火をするなどの工夫をこらしました。多くの方に楽しんでいただけたと思います。

当日は、運営会議委員会の地域振興部門のメンバーが中心となり、各地区の区長、子ども育成会の協力で運営されました。



「つぎの第2歩計画」事業企画書

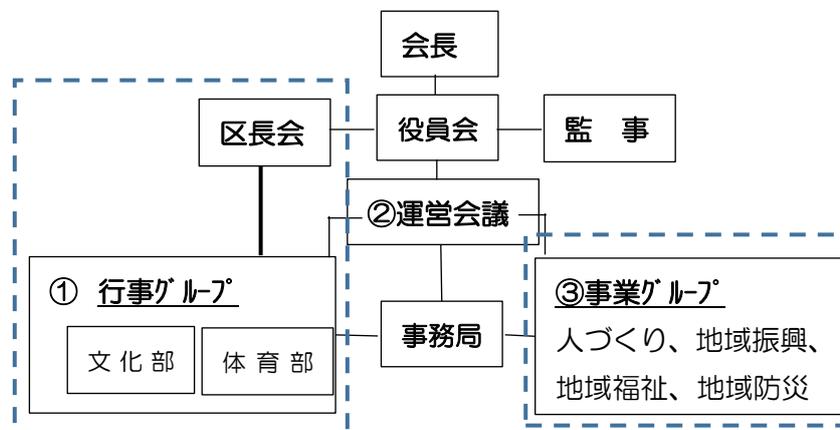
作成日	2021年6月7日	作成部門	地域振興
事業タイトル (プロジェクト名)	こどもよいち		
ターゲット	2021年は奈佐地区在住の子ども達（中学3年生まで） 2022年以降は奈佐外の方にも奈佐を知ってもらうイベントへ		
事業目的	奈佐小学校が閉校となり、合わせて新型コロナウイルスの感染対策で 動などが困難になっている状況の今、奈佐の中で少しでも楽しめるイ ントを開催し、活気を失わないようにしたい。		
具体的な実施内容 とスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ なさいちの語呂に合わせて7月31日(土)を開催日にする夏祭り ・ 開催時間 17:00~20:00 ・ 開催場所 コミュニティ駐車場、らみい様広場 ・ 催し ビンゴ大会、仕掛け花火、おたのしみ抽選会 ・ キッズ屋台 区長会と育成会に声掛け ・ コロナ対策 受付で名簿記入、検温を実施し、ご協力いただいた 方にビンゴカードをお渡しする。感染対策声掛け隊 をつくる。 ・ コロナ対策2 飲食は専門業者さんへ依頼する 		
予算計画	①花火代（外部の方をお願い） ②ビンゴ大会景品代 ③おたのしみ抽選会景品代 ④キッズ屋台用材料 ⑤外部出店者依頼料		
担 当	主体 コミュニティ事務局	協力	プロジェクト実行委員
達成目標	安全にイベントが開催出来、終了できること。来場者200人程度		

20200820-1

第6章 計画の推進体制と点検評価

1. 推進体制と運営のイメージ

地域づくり計画の実践に向けて、次に示す組織図を推進体制とし、組織運営が円滑に進むよう努めていきます。



図表 17 当面の組織図イメージ

① 行事グループの役割

- ・ 区長会を通じた区からの派遣の体制
- ・ 文化部会、体育部会として各区から選出
- ・ 行事グループ個別事業の実施計画と反省会
(事業ごとにPDCAサイクルを回す)

※ 将来的には事業ボリュームの変更や、各区の負担を減らす意味で、部員の減員や文化部、体育部の統合も検討

② 運営会議の役割

- ・ 組織全般のマネジメント機能
(組織全体のPDCAサイクルを回す要となる)
- ・ 地域づくり計画の見直し、進捗管理
- ・ 実施主体、活動(予算)の検討
- ・ 次年度予算の検討等、年に数回開催

※ 計画策定を進めてきた運営会議は、ひとまず計画作成を目的とした運営会議としては一区切りとし、計画策定後、奈佐地区のマネジメントのための運営会議として、一新する。

③ 事業グループの役割

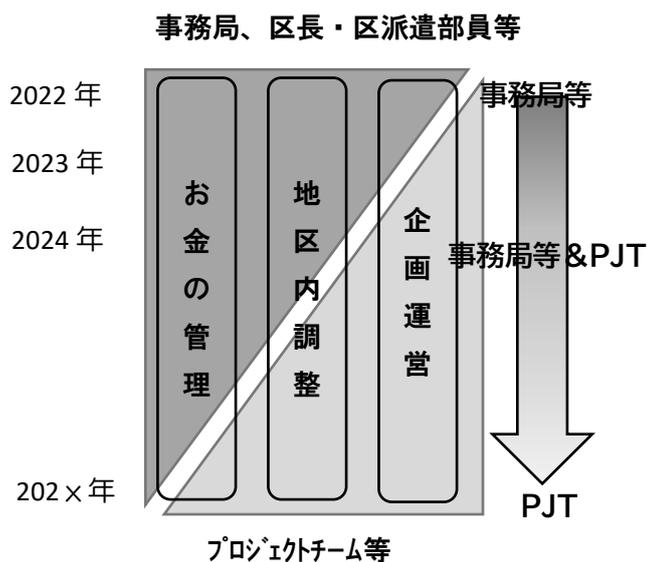
- ・ 基本的に、区を介さないコミュニティ直轄の体制
- ・ 将来プロジェクトチームにより主体的な活動ができるよう目指す。

※ プロジェクトチームは、地域づくり計画で掲げるコンセプトに賛同されたメンバーで構成。具体的な企画・予算要求により活動を行っていく団体をイメージ（例 「こどもよいちプロジェクト」、「なぎさ塾」）

※ プロジェクトチームは、毎年の事業計画・予算要求をして、運営会議が吟味する。

2. 将来に向けた取組み実施のイメージ（地域が目指す住民主体の活動の理想像）

将来的には、住民が主体的に企画運営・地区内の調整等を各プロジェクトチームが担っていく体制づくりを目指します。このことにより、各区派遣の部員や区の負担軽減にも繋がります。



図表 18 住民主体の取組みに向けた実施・推進体制の全体イメージ

第7章 今後の課題

2020年度以降、新型コロナウイルス感染症対策により、奈佐地区コミュニティなぎさの会の取組みにおいても、行動制限を行わざるを得ない状況でした（図表 19）。

また、小学校の統廃合により、地域と子どもが関わる機会の減少、奈佐節など伝統文化継承の難しさ、子育て世代である親同士の繋がりが減っていくことが懸念されます。

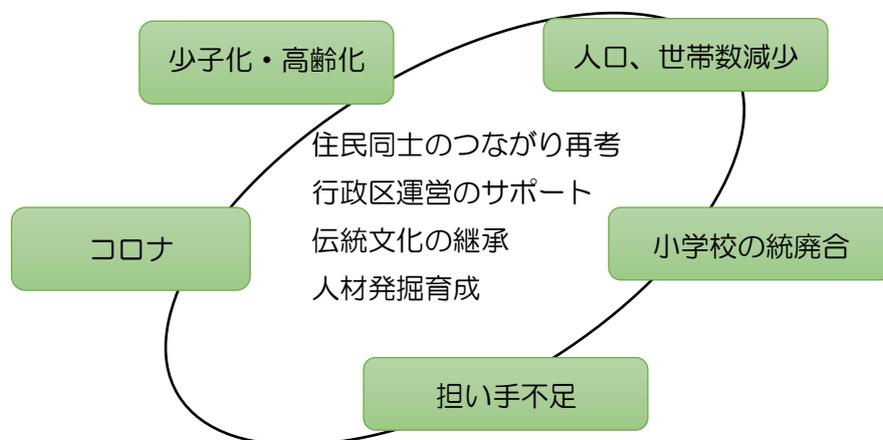
さらに、少子化・高齢化、人口減少の状況下において、構成する行政区の運営が単一行政区では、難しい運営になっていくことも懸念されます。

これらの課題について今回の計画策定においては、踏み込んだ検討ができなかったため、残された課題として、行政区も含めた奈地区全体の住民自治運営を見つめ直していく必要があります（図表 20）。

このことから、地域づくり計画策定後も、これら残された課題を踏まえて、奈佐地区コミュニティなぎさの会が先導役となり、持続可能な住民自治運営ができるよう努めていきます。

図表 19 新型コロナウイルス感染症対策により見合わせた主な取組み

見合わせた取組み	状況等
ソフトバレーボール大会	2020年、2021年中止
運動会	2020年、2021年中止
A t. 奈佐ウォークラリー大会	2020年中止
文化祭	2020年、2021年中止。作品展示会のみ実施
三世代交流そば打ち大会	2020年、2021年中止



図表 20 残された課題の検討イメージ

豊岡市奈佐地区地域づくり計画
「つぎの第2歩計画」
2022年3月25日発行

発行者：奈佐地区コミュニティ なぎさの会
企画・検討：奈佐地区地域づくり計画「つぎの第2歩計画」策定運営会議